

## プログラムの構成

3月2日(金)「前日企画」開催 (オプションプログラム)

3月3日(土)

3月4日(日)

時間	内容
10:00 ~	受付開始
10:30 ~ 12:30	開会・オープニング全体会
12:30 ~ 12:40	オリエンテーション
12:40 ~ 13:50	昼食休憩 (ランチ交流セッション)
14:00 ~ 17:30	<b>分科会 A</b>
17:30 ~ 18:00	会場移動
18:00 ~ 20:00	交流会 (有料・希望者のみ)

時間	内容
9:10 ~	受付開始
9:30 ~ 13:00	<b>分科会 B</b>
13:00 ~ 14:00	昼食休憩 (ランチ交流セッション)
14:00 ~ 15:30	クロージング全体会・閉会
15:30	全プログラム終了
15:45 ~ 17:30	JVCA2018 年度通常総会

## プログラムの一覧

分科会 No.	分野	テーマ
オープニング		原点を問う。未来を拓く。 ~コーディネーター あるある物語~
3月3日(土) 1日目	A-1 社協	これでいいのか? 社協と社協ボラセン!! ぜったいにゆずれない社協魂が、ここにはある
	A-2 居場所	「まちの縁側」は住民自らがつくる地域の安心居場所 「まちの縁側のふりかけ」で劇的に変わる居場所! その「ふりかけ」とは?
	A-3 災害	災害時にも活きる つながりづくり まちづくり 我が事・丸ごとの防災・減災活動
	A-4 病院	【徹底分析】リスクマネジメントの実際に学ぼう! 病院ボランティア受け入れにおける事例を素材に
	A-5 困窮	生活困窮者支援の今! 最前線の実践から考える 制度施行3年を振り返り、これからを語り合おう
	A-6 社会教育	子ども・若者の育ちと大人の学びをつなげる 子ども・若者たちの力を引き出すコーディネーション力を磨く
	A-7 学校	“ガッコウ・チキの熱いカンケイ” 「ガチ」でやります! 学校と地域をつなぐコーディネーション
	A-8 住民力	中山間地からの発信 住民ってすごい!! つぶやきをひろい実現につなぐ そこにはみえないコーディネーション力が
	A-9 環境	都市と農山村の人々をつなぐ 森林ボランティア、援農、里山再生...地域活性の「キモ」
	A-10 若者	学生を公共の担い手へ 主体的な参画を促す仕組みや仕掛け
	A-11 基礎研修	施設・団体のボランティアコーディネーション ボランティアマネジメントの基本を身につける
	A-12 基礎研修	中間支援組織のボランティアコーディネーション 「つなぐ」だけで終わらないコーディネーションの基本を身につける
交流会		交流会 ~おいでなして信州~ 情報交換・出会いの場です。大いに語り合い、交流を深めましょう!
3月4日(日) 2日目	B-1 伝える	知らぬ間に、誘導してしまっているかもしれない、これでいいのか、あなたのコーディネーション 戦時下の情報伝達媒体を使って考えるコーディネーションのあり方
	B-2 人材育成	会議の場に活かされるコーディネーションのチカラ 「会議の見える化」の糸口としてのファシリテーショングラフィックを学ぶ
	B-3 コーディネーション力	振り返ればコーディネーションのヒントが見えてくる どうつなぐ? 活動へのつなぎ方、そして活動からのつなぎ方
	B-4 シニア	無限の創造力でシニアの持つ“ちから”を活かすコーディネーション コーディネーターの着想・発想・創造力でシニアの居場所と出番を考える
	B-5 災害	災害その時、求められるコーディネーション力 本質を捉える力と視野の広い専門性・柔軟性を身につけよう!
	B-6 子ども・貧困	“子どもと貧困”を考える 機会の平等実現のために地域社会は何ができるか...
	B-7 協働	ホンモノの協働とは!? 一緒に見てみませんか? 協働をコーディネーションしたい人のための勉強会
	B-8 障害・施設	コーディネーターは障害のある人が地域で暮らすためにどんな役割を果たしたか 地域に顔なじみの人をつくっていますか
	B-9 若者	「エモい」ボランティアってなんだろう? 若者×ボランティアのこれからを考える
クロージング		信州発(初) ここがミソ! 未来へつなぐコーディネーション 私たちは何を問い続けるのか?
総会		JVCA2018 年度通常総会 JVCA 会員の方はご出席をお願いします。会員以外の方も傍聴できます。JVCA ご入会希望の方はぜひお越しください。

開催要項

Japan Volunteer Coordinators Conference

全国ボランティアコーディネーター研究集会2018

# JVCC 2018 信州

大会テーマ **ここがミソ!**

**そばもコーディネーションも**

**「つなぎ」がかんじん**

ヒト・モノ・コトから読み解き、未来を創造する

2018

3/3

土

10:30~17:30

(受付開始 10:00)

交流会

18:00~20:00

4

日

9:30~15:30

(受付開始 9:10)

会場：JA 長野県ビル・アクティーホール、もんぜんぷら座、  
長野市生涯学習センター (TOiGO WEST 3・4 階)

参加費：一般 12,000 円、JVCA 正会員・準会員 10,000 円 (WEB 早割は各々 1,000 円割引)  
※別途交流会参加者 4,000 円 (希望者のみ)

定員：250名 ※締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきます。

申込締切：2018年2月2日(金) <<17:00必着>> WEB早割は1月26日(金)締切

平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

主催 ● 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 信州 実行委員会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

協力 ● 社会福祉法人長野県社会福祉協議会、公益財団法人長野県長寿社会開発センター、特定非営利活動法人長野県NPOセンター

社会福祉法人長野県共同募金会、社会福祉法人長野市社会福祉協議会、公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

JA長野中央会、長野県生活協同組合連合会

後援 ● 長野県、長野県教育委員会、長野市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人中央共同募金会

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、特定非営利活動法人国際協力NGOセンター、公益財団法人日本YMCA同盟

一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人児童健全育成推進財団、一般社団法人環境パートナーシップ会議、ESD活動支援センター

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会、特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会

問い合わせ 全国ボランティアコーディネーター研究集会2018信州 実行委員会事務局 (特定非営利活動法人長野県NPOセンター内)  
〒381-0034 長野県長野市大字高田1029-1 Tel: 026-269-0015 Fax: 026-269-0016  
Email: jvcc2018@npo-nagano.org <https://jvcc2018.jimdo.com>

## B-7 ホンモノの協働とは!? 一緒に見てみませんか?

**協働** 協働をコーディネーションしたい人のための勉強会

**対象** ▶ \*市民活動支援センター職員  
\*NPOスタッフ

**定員30名**

**世**に協働という言葉が生まれて早何年? 言葉だけが独り歩きしていて、本当の意味での協働が、この世に存在するのかすらわかりません。もしかすると、協働することが目的になってしまっているのではないのでしょうか。

だからこそ、なにが協働で、なにが協働ではないのか。どこからが協働なのか。改めて、コーディネーターの視点から本当の協働について考えてみましょう。良い事例や悪い事例などをもとに自分たち自身が思う協働を考え、そこから、協働の本当の意味を導き出し、どうコーディネーションに生かしていけばいいのか学び合しましょう。

**講師・事例提供者:** 北川洋一さん (公益社団法人京都観光協会 事務局長)

**ファシリテーター・事例提供者:** 土崎雄祐さん (宇都宮大学 地域連携教育研究センター 特任助教、JVCA運営委員)

☎ [担当] 祢津 満 (長野市地域活動支援課) / 阿部今日子 (長野市市民協働サポートセンター) / 山室秀俊 (特定非営利活動法人長野県 NPO センター)

## B-8 コーディネーターは障害のある人が地域で暮らすためにどんな役割を果たしたか

**障害・施設** 地域に顔なじみの人をつくっていますか

**対象** ▶ \*障害者と関わる仕事をしている人、地域でコーディネートする福祉施設の職員  
\*社会福祉協議会職員

**定員30名**

**障**害のある人が自分らしく地域で暮らすために、関わる支援者、コーディネーターは何をしたらいいのでしょうか?

障害のある人の多様なニーズに気づき、そのニーズに応じていますか。障害のある人の力を信じていますか。

福祉サービスだけにとらわれない自由な発想と対応で、障害のある人のニーズに応える方法を考えます。

障害者施設でのボランティアの役割は何か、活躍の場をどうつくるか、施設にコーディネーターがいると何ができるかを、みんなで考えます。

**体験発表者:** 太田廣美さん (社会福祉法人絆の会 副理事長)

**障害当事者** (社会福祉法人絆の会 事業所利用者) **ボランティア** (社会福祉法人絆の会 ボランティア)

**ファシリテーター・コーディネーター:** 片桐美登さん (長野県社会福祉事業団西駒郷 地域移行推進課 アドバイザー)

☎ [担当] 坂口和美 (社会福祉法人絆の会) / 春原み (長野保健医療大学)

## B-9 「エモい」ボランティアってなんだろう?

**若者** 若者×ボランティアのこれからを考える

**対象** ▶ \*若者の市民活動参加について関心のある方など

**定員25名**

「ボランティア活動に関心はあるが、実際に参加したことはない」という10代~20代の若者が多くいます。その一方で、若い世代に活動に参加してもらいたいが、なかなかつながることができないという悩みを抱えている団体は少なくありません。今の若者を取り巻く社会の状況を見つめ直し、若者の「生の声」を聴きながら、次世代を担う若者世代に「ささる」ボランティアコーディネートを模索します。 ※「エモい」とは、気分の高揚や、感動、感激を表現する若者言葉です。

**※参加者には事前に課題の提出をお願いします。**

**コーディネーター:** 鹿住貴之さん (認定特定非営利活動法人JUON (樹恩) NETWORK 理事・事務局長、JVCA理事)

**トークセッションゲスト:** 波多腰 遥さん (学生等若者の活動コーディネーター)

☎ 齊藤 舞さん (長野県社会福祉協議会ボランティア振興グループ 主事)

**トークセッションゲスト・アドバイザー:** 端田篤人さん (長野大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授)

☎ [担当] 中城隼人 (特定非営利活動法人長野県 NPO センター)